



七畳夢空間

しちじょう ゆめくうかん

Shichijo-Yumekuukan

お座敷

LAYOUT

敷設記

ふちんかん

アラかん記念に新連載だ。

現在自宅7畳間に敷設中の鉄道模型お座敷レイアウトについてつれづれ綴ってみる。

自宅レイアウト第3弾

一昨年、W00の集合式レイアウトの部材を利用させてもらい、自宅レイアウトを開始した。このときは段ボールや衣装ケースの上にベニヤ板を敷いただけの環境だったため、徐々に地盤沈下が発生、メンテナンスに時間がかかり運転を楽しむまでに至らなかった。

2年目の昨年は、土台用の段ボールを新規に大量購入、そのうえにスチレンボードを敷くことで、安定性は向上した。部屋の4辺に線路を敷設したので、それなりのロングランも楽しめた。ただ部屋の中央部が運転室となり、列車の動きに合わせて体を回転させる必要があったり、その中央部に入るために線路をくぐらなくてはならない、まるで茶室の入り口！など、改善したいところもあった。

さて3年目となる今年度の構想は…

- ・線路は自前で揃える（トミックスのレールで全線を構成する）。
- ・メインの土台として組み立てラックを使用し、より高さの安定を図る。
- ・アクセスと線路の一覧性を高める。
- ・よりロングランの路線を作る。

そのために

- ・ヤフオクやメルカリ、ポポンデッタなどで中古のレールや橋脚などを大量購入
- ・アマで3段式の組み立てラックを12個購入し、2段のラックを16個作成
スチレンボードも新たに3枚購入
- ・部屋の一辺を運転室としたプランを立てた



七畳夢空間 自宅レイアウト敷設記



中古で購入したレールは状態の悪いものも多く、レール磨きには苦労した。まあWOOの預かり品と違うので遠慮なくガシガシと紙やすりをかけ、無水アルコールで拭き取るという荒療治で対応した。

ポイントは古い製品では動作しないものもあったが、分解して接点を磨いたりすることで概ね動作するようになった。

		
土台となるラックを大量組み立て	スチレンボードを置いてみる	段ボールも補助に使う
		
計画書を元に、徐々に	土台を拡げていく	高架部分はスチレンボードを重ねる
		
レールを仮置きして確認	既存の小山も組み込む	左がメインの運転部 右はメンテ用

今回は高速線2線、在来線2線を基本として、在来線の1線を超ロングラン対応とした。具体的にはドッグボーンの両端に高低差をつけ、高速線の内外を2周半するようなラインを取った。またWOOのモジュールも一部取り入れた路線や、昨年作った山岳線を再利用した線も追加し、合計6路線となった。具体的には次回に紹介しよう。

(第1回終わり)